

トキを活かしたまちづくりの推進について

国はトキ野生復帰ロードマップ2025において、2030年から2035年ごろまでの中長期的な目標に「本州でもトキが定着し繁殖できるようになること」を掲げています。

本市においては、平成23年からトキの分散飼育をスタートし、令和元年からはトキの一般公開も行い、トキの保護増殖に貢献するとともに、広く情報発信を行ってきました。そして、昨年8月には、石川県とともにトキの野生復帰を目指す里地（A地域：放鳥を目指す地域）に選定されたところです。

本市でのトキの放鳥に向けて、全市的な取組として、社会環境や生息環境の整備など、トキを活かしたまちづくりを進めていくため、出雲市トキによるまちづくり庁内推進本部を設置し、各部署横断的に取り組むこととしましたので報告します。

記

1. 出雲市トキによるまちづくり庁内推進本部の設置について

(1) 組織体制について

- ①本部長 市長
- ②副本部長 両副市长
- ③本部長 教育長、上下水道事業管理者、各部（局）長、行政センター所長
- ④ワーキンググループ（各課長・担当者）

・社会環境ワーキング

テーマ：放鳥に向けた市民意識の向上及び機運醸成、幅広い年齢層への普及啓発

所管課：政策企画課・広報課・環境政策課・農業振興課・教育政策課

・生息環境ワーキング

テーマ：餌場・営巣地環境の整備など

所管課：政策企画課・環境政策課・農業振興課・森林政策課

・地域活性化ワーキング

テーマ：農作物の付加価値化、観光誘客、関連商品の開発など

所管課：政策企画課・商工振興課・観光課・環境政策課・農業振興課

※状況に応じて随時担当課を追加して取り組みます。

(2) アクション・プラン2025の策定について

出雲市トキによるまちづくり構想の5つの基本目標に基づき、具体的な施策を実施するため、アクション・プラン2025を策定します。

【5つの基本目標】

- ・市民の環境意識の向上
- ・環境にやさしい農業の普及
- ・豊かな生態系の再生
- ・地域産業への波及
- ・人的交流の活性化

2. トキ色の活用について

出雲新話2030では、トキを環境に配慮したまちづくりのシンボルとし、持続可能な地域社会の形成に向けて取り組むこととしています。

そこで、市のイメージカラーとしてトキの美しい羽根の色を指定し、市内外へアピールするとともに、出雲の自然を舞台に、トキの野生復帰を目指します。

(1) 市のイメージカラーの指定について

トキ色は淡い桃色と言われ、季節によっても異なります。また、羽軸からのグラデーションの美しさが大きな特色であることから、桃色を基本に幅をもったイメージカラーとします。イメージカラーの目安として以下の3色を指定します。なお、この3色に限定せず、類似色も可とします。

カラーコード			
RGB	R251 G139 B91	R247 G222 B212	R252 G178 B174

(2) 活用（案）について

施設等の壁面、指定ごみ袋、カラー舗装、封筒、印刷物、ネクタイ等の衣類、ドリンクやお菓子、お土産品、文房具など様々な場所・場面で視覚的に啓発し、トキによるまちづくりの機運の醸成、対内外的なPRを行います。

3. 出雲市トキによるまちづくりロードマップについて ※別紙参照

令和5年度 (2023)	アクション・プラン2025の策定 放鳥適地調査（実地調査）の実施
令和6～7年度 (2024～2025)	モデル地区の選定・モデル事業の実施 国の放鳥要件にあわせ生息環境整備方針の策定
令和7～8年度 (2025～2026)	出雲市トキによるまちづくり構想を国のロードマップ2030の内容を反映して改定 アクション・プラン2030の策定
令和12～17年度 (2030～2035)	国の中長期的な目標「本州でもトキが定着し、繁殖できるようになること」

【継続した取組】	社会環境の整備（市民意識の醸成など） 生息環境の整備（餌場・営巣地環境の整備など） 地域活性化の取組（農作物の付加価値化、観光誘客など）
----------	--

4. 令和4年度トキ生息適地候補調査について

昨年度、地形、植生等の環境基礎資料を基に地理情報システム（GIS）を用いた生息環境の適正評価を行い、トキの生息に好適な採餌環境、営巣環境等の潜在性の高い地域を選定しました。

(1) 実施方法

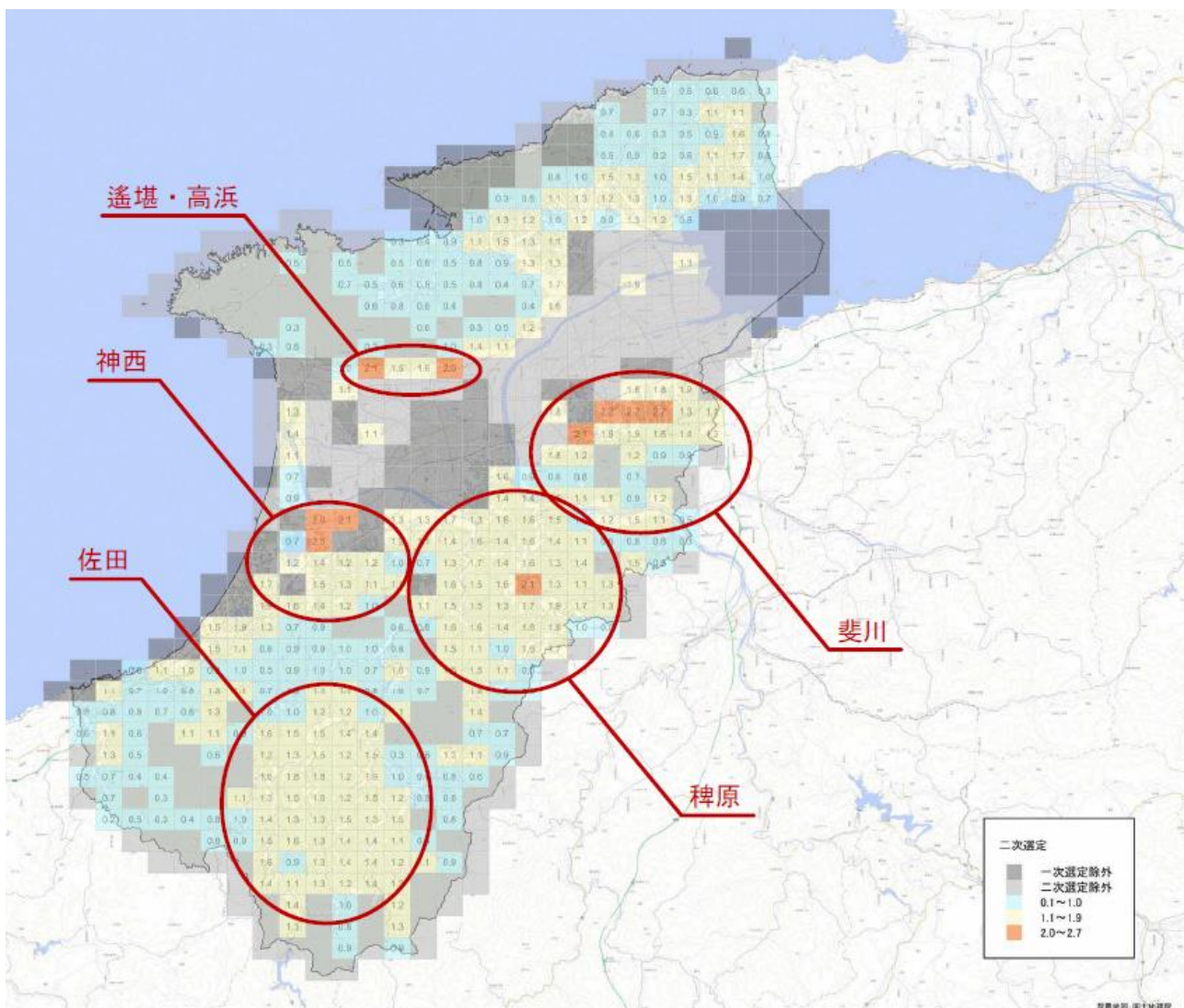
トキの採餌環境及び営巣環境に注目し、市全域について1キロメートル四方の評価対象メッシュを設定し、メッシュごとに水田、森林を始めとする環境要因の有無、面積等を計測、点数化したうえでメッシュ単位により評価しました。

(2) 調査結果

生息適地候補地域として、高スコアメッシュが分布する「神西」「稗原」「斐川」「遙堪・高浜」の4エリア及び高スコアメッシュは存在しないが採餌環境と営巣環境をもつメッシュが広域に分布する「佐田」エリアを加えた5エリアを選定しました。選定エリアの概要については、以下のとおりです。

今年度は、選定したエリアの更なる評価や絞込みに向け、現地調査、生き物調査、農業者へのアンケート調査等を行う予定です。

①位置図



②選定エリアの概要

選定エリア	概要
神西	<ul style="list-style-type: none"> ・平野部と山地の境界に入り組んだ谷地形が連続しており、水田と森林が近接して存在するエリアである。 ・神西湖周辺に水田地帯が広がる。また、山間部に農業用ため池が多く存在する。 ・周辺の山地には営巣環境評価の高い山林が分布している。 ・ビオトープとして神西湖バイオガーデンが整備されている。 <p>※市街地エリアに近く、山陰道が横断している。</p>
稗原	<ul style="list-style-type: none"> ・稗原川流域に分布する中山間地域であり、里山的景観が広がる。 ・野尻町にビオトープが整備されている。また、農業用ため池が多く存在する。 ・周辺の山地には営巣環境評価の高い山林が分布している。 ・コウノトリと共生するまちづくりとして、生きものを育む農業の推進や生物多様性保全に取り組んでいる雲南市と隣接する。
斐川	<ul style="list-style-type: none"> ・平野部と山地の境界に入り組んだ谷地形が連続しており、水田と森林が近接して存在するエリアである。 ・斐伊川流域の水田地帯と出雲地域南部の営巣環境評価の高い山林の間に位置する。 ・荒神谷史跡公園と出西にビオトープが整備されている。 <p>※市街地エリアに近く、山陰道が横断している。</p>
遙堪・高浜	<ul style="list-style-type: none"> ・平野部と山地の境界が連続しており、平野部には水田が分布している。 <p>※複数の高スコアメッシュが存在するが、面的に狭く、市街地に近いなど、エリアとしての評価は他のエリアと比較して低い。</p>
佐田	<ul style="list-style-type: none"> ・高スコアメッシュは存在しないが、採餌環境と営巣環境がそろったメッシュが広域にわたり分布している。 ・市街地から離れており、人為的影響を強く受けないエリアである。

5. トキの放鳥に向けた情報発信について

「トキの野生復帰を目指す里地」に選定されたことを受け、トキの認知度を高めるとともに、放鳥を目指す機運を高めるため、様々な方法により情報発信に取り組んでいます。

①放鳥に向けたPR動画の作製

- ・市の公式ホームページによる動画配信
- ・出雲ケーブルビジョン株式会社の番組内で放映



②トキの野生復帰を目指すリーフレットの作製

- ・市内の公共施設等に設置
- ・県外の方の認知度を高めるため道の駅にも設置

③トキPRマグネットシートの作製

- ・コミュニティセンターの公用車に貼り付けて走行

④その他

- ・トキ分散飼育センターのバックヤード体験ツアーの実施
- ・トキ近似種エサやり体験の実施

6. 令和5年 トキの分散飼育の状況について

令和5年の繁殖期には、計3組（6羽）で繁殖に取り組みました。3月23日に初の産卵を確認後、計20個の産卵があり、4羽のヒナがふ化しましたが、1羽は死亡してしまったため、現在、3羽のヒナを育雛しています。

令和5年繁殖結果

単位（個・羽）

繁殖ペア	産卵数			ふ化数	
	有精卵	無精卵	不明		
BZペア	7	3	2	2	1（人工1、自然0）
CLペア	9	5	3	1	3（人工1、自然2）
COペア	4	3	0	1	0
合計	20	11	5	4	4（人工2、自然2）

※不明とは、破卵・巣外投棄・腐敗等により、有精無精の判定ができなかったもの。

7. トキ一般公開施設の入場者数について

年度	開館期間	開館日数	入場者数	平均
R4	4～3月※	273日	24,180人	89人
R3	4～3月	307日	23,352人	76人
R2	7～3月	229日	15,099人	66人
R1	7～12月	155日	16,634人	107人

※R4年度は監視カメラ更新工事のため、休館期間あり。

【別紙】出雲市トキによるまちづくりロードマップ

項目	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	
全体	トキによるまちづくり構 想	構想の一部改定	トキによるまちづくり構想2030を策定 (国のロードマップ2030を反映)	トキによるまちづくり構想2030スタート				国のトキ野生復帰 ロードマップ2025	
	アクション・プラン	庁内推進本部(常設)の設置・進行管理 アクション・プラン2025策定	アクション・プラン2025実施	アクション・プラン2030策定	アクション・プラン2030スタート			2030~2035年ごろ までの中長期的な 目標 『本州の野生下で もトキが定着し、 繁殖できるよ様に なること』	
	トキによるまちづくり推 進協議会	組織体制の強化の検討	推進協議会の運営						
	関係者との連携	鳥根県、近隣自治体、佐渡市、環境省等との連携							
	社会環境	普及啓発	トキによるまちづくりに係る市民意識の醸成						
		ステークホルダー	トキ色を活用した各種事業(トキ色の指定・活用の検討・実施)						
		生息環境指針	佐渡市の取組内容整理	国の放鳥要件にあわせ生息環境整備方針の検討・策定					
		放鳥適地調査	実地調査の実施	モデル地区の選定・モデル事業の実施					
		営巣地の確保		営巣候補地の検討・選定					
	生息環境	餌場の確保		餌場の確保に向けた事業(支援内容等)の検討・実施、休耕地等を有効活用したピオトープの検討・実施					
環境にやさしい農業			環境にやさしい農業の促進(環境保全型農業・有機農業)						
農作物の付加価値化		販売戦略の検討	農作物のブランド化・商品化実証						
トキと共生する里地づく りネットワーク協議会		石川県開催	出雲市開催	石川県開催	出雲市開催	佐渡市会場	石川県会場	出雲市会場	
観光誘客	トキを活用した観光メニューの検討・実施								
地域活性化									